

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

決算審査特別委員会環境経済分科会記録

日	令和 7 年 9 月 26 日（金）（第 3 回定例会）			
時	午後 4 時 41 分 開議（ 休 憩 な し ） 午後 4 時 44 分 散会			
場 所	第 3 委員会室			
出席委員	白 鳥 誠	須 藤 博 文	山 崎 真 彦	渡 辺 忍
	栢 澤 洋 平	蛭 田 浩 文	森 山 和 博	三 須 和 夫
	石 橋 毅			
欠席委員	櫻 井 崇			
担当書記	遠 藤 知 美 伊 藤 祐 貴			
説 明 員				
協議案件	指摘要望事項の検討			
そ の 他				
主 査 白 鳥 誠				

午後 4 時41分開議

○主査（白鳥 誠君） ただいまから、決算審査特別委員会環境経済分科会を開きます。
なお、櫻井委員より、欠席する旨の連絡が参っておりますので、御了承願います。
本日の審査日程につきましては、指摘要望事項の検討でございます。

指摘要望事項の検討

○主査（白鳥 誠君） 委員の皆様には、これから決算審査特別委員会環境経済分科会としての指摘要望事項の検討をお願いいたします。

まず、正副主査案を副主査より発表いたしますので、よろしく願います。須藤副主査。

○副主査（須藤博文君） まず、環境局につきましては、ごみ減量・資源化推進については、プラスチックごみの分別回収、再資源化に向けた取組の着実な推進はもとより、可燃ごみの約3割を占める生ごみの減量は、資源循環型社会の形成や脱炭素の視点からも重要であることから、生ごみ減量機器等の購入助成や食品ロス対策など市民、事業者の行動変容につながる効果的な施策展開に意を用いられたい。

続いて、経済農政局です。産業人材の育成、確保については、労働力不足が喫緊の課題となっている業種への資格取得支援の拡充や、ものづくり人材の市内就労を促す奨学金返還サポートのさらなる周知などによる支援を継続して取り組まれたい。

また、アントレプレナーシップ教育については、地域におけるキャリア教育に有効であることから、プログラムの効果検証や体系的な整理を行い、未来の産業人材の育成に向け、産学官の連携による事業展開に努められたい。

以上でございます。

○主査（白鳥 誠君） 正副主査案については以上ですが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○主査（白鳥 誠君） それでは、指摘要望事項については、以上のとおり決定させていただきます。

なお、分科会報告の作成等につきましては、正副主査に御一任願います。

以上で、決算審査特別委員会環境経済分科会を終了いたします。

長期間、慎重審査ありがとうございました。

午後 4 時44分散会